

## 令和5年度第1回 北九州市子ども・子育て会議【会議要旨】

## 1 開催日時

令和6年1月24日（水） 17:00～18:15

## 2 開催場所

AIMビル3階 311会議室

## 3 出席委員数 ※委員定数：15名

13名

## 4 北九州市子ども・子育て会議及び委員、事務局の紹介

- ・北九州市子ども・子育て会議委員の改選に伴う委員紹介
- ・認定こども園・確認部会委員の選出

## 5 議題

- 1 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」の実施状況について（資料4～7）
- 2 次期子どもプラン（次期市町村こども計画）の策定について（資料8～9）

**議題1 「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」の実施状況について**

資料に沿って、「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」令和4年度の点検・評価について説明。

## 【主な意見・質問等】

（委員）

コロナ禍の中で、いろいろ表面に見えない家庭での変化が起こっていたと思うが、その実態がようやく令和4年度になって明らかになっている部分もあると思う。今回の結果をまとめる中で、感じたことやコロナによる子どもたちの生活への影響について教えて欲しい。（質問）

⇒（事務局 回答）

令和4年度の結果は、前年度より全体的に評価は上昇していると感じる。理由としては、コロナ禍において開催できなかった事業などが開催できている。しかし、子どもたちの中での変化というのは、なかなか数字には表れにくいところである。子ども総合センターや各区役所の子ども・家庭相談コーナー等の相談件数が増えており、コロナ禍では見えなかった部分が出てきているのではないかと感じる。

（委員）

長期欠席児童生徒数の欄で小学生・中学生ともに全国平均等の比較で、令和3年度は全国平均より多いことが読み取れ、令和4年にはさらに全国平均を超えて長期の欠席児童生徒数が小学・中学ともに増えている状況がうかがえる。基準値比もかなり大きな差となっている状況だが、長期欠席児童の数等について原因等まで調査対象となっているのか。仮になっているとすれば、令和3年度、令和4年度との間でさらに増加し全国平均とさらに広がった理由が分かれば教えて欲しい。（質問）

⇒(事務局 回答)

不登校の要因についての調査は行っていない。令和3年度と4年度の違いについては、現在調査中。不登校は、全国的にも上がっており、令和4年度が全国不登校者数の過去最大となっている。

(委員)

北九州市次世代育成行動計画の評価結果に、「職員の配置や処遇の改善、職員の事務負担の軽減に併せて取り組む」とあるが、市がどの程度、介入できるものなのか。幼稚園は何となく閉ざされたというか、幼稚園の中で運営していくというイメージが保護者としてあるので、どの程度、改善に対して介入していけるものなのか教えて欲しい。

⇒(事務局 回答)

保育士不足というのが全国的に言われているが、保育所・幼稚園ともになかなか厳しい状況が続いている。今、市として取り組んでいるのが、国の方針に沿った給与・処遇の改善や、市の独自の加算などの対応を取っている。同時に、保育士、幼稚園教諭の確保については、(人材)確保のためのフェアを開催したり、養成校の生徒へのアプローチ、人材バンクへの登録などの手法でアプローチしている。国のこども未来戦略の中でも掲げられている強化策なども踏まえながら、市としてもしっかりと取り組んでいきたい。

(委員)

北九州市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度の実績で、それぞれ達成率が出ているが、受け皿を増やすということよりも、実際のところ、子どもたちのお世話をする担い手(保育士)が不足しているということが決定的な問題である。もし保育士の確保が今後十分進むようであれば、各施設が受け皿を増やして対応することは十分可能だと思う。単一の保育園や幼稚園の努力では賄いきれない社会問題となっているので、その辺りを子どもプランの中でも十分に取り上げていただきたいと思う。(意見)

(委員)

児童虐待への対応について、児童虐待の通告数自体はどのように推移しているのか、もし通告数が増えているようであれば、現在の職員数での十分な対応ができているのかを伺いたい。(質問)

⇒(事務局 回答)

通告件数は、昨年度 2,515 件で前年度比 150 件ほど増加しており、過去最多の数となっているが、全国の数字もほぼ北九州と同じような傾向をたどっており、全国においても昨年度は最多となっている。通告件数の増加の背景としては虐待条例の施行により、市民、学校関係者などの、虐待への意識が高まり、今まで見過ごされていた「小さな虐待(例えば、泣き声通報)」など、近所で子どもの泣き声が2、3分聞こえたので電話したなど、このような通報件数が増えているのが実態である。通報件数が増えているのは事実だが、見逃されていたような虐待が表に出てきていると考えている。

職員数については、児童福祉司の配置に関して、通報件数が増えると児童福祉司も増やさなければならず、子ども総合センターにおいては、市の人事部門と調整等し、法定の人員は足りている状況である。

## **議題2 「次期子どもプラン(次期市町村こども計画)」について**

資料に沿って、「次期子どもプラン(次期市町村こども計画)」の概要、策定スケジュールなどを説明(意見等は特になし)。